

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施策	①離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持
			施策の小項目名	○離島定期航空路線の確保・維持に向けた空港施設の更新・機能向上
主な取組	離島空港の維持補修・機能向上整備		対応する成果指標	離島空港の年間旅客数
施策の方向	・離島航空路の確保と維持に向けて、計画的な空港施設の更新整備と機能向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
離島空港において航空機の安全な運航を確保するため、更新等の必要な空港施設の整備を行う。	県	離島空港施設維持補修、機能向上に係る設計業務、工事の実施			
		各離島空港の維持補修・機能向上整備数(内訳)			
		7空港	7空港(新規3空港、継続4空港、累計10空港)	9空港(新規1空港、継続8空港、累計11空港)	
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課		【 098-866-2400 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 公共離島空港整備事業				予算事業名 公共離島空港整備事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
内閣府計上	直接実施	2,030,659	2,499,670	内閣府計上	直接実施	2,032,200
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
宮古空港航空灯火改良工事、伊江島空港RESA整備工事、南大東空港滑走路改良工事、北大東空港滑走路改良工事等を行った。				宮古空港簡易式進入灯改良工事、伊江島空港RESA整備工事、南大東空港滑走路改良工事、下地島空港滑走路改良工事等を行う。		

活動指標名	各離島空港の維持補修・機能向上整備数 (内訳)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	9空港	8空港 (継続8空港、 累計10空港)	7空港 (継続7空港、 累計9空港)	9空港 (新規1空港、 継続8空港、 累計11空港)	77.8%	概ね順調	伊江島、南大東、北大東、粟国、宮古、多良間、下地島において、工事や調査設計を実施した

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和6年度に予定していた与那国空港および久米島空港が令和7年度以降になったことから実績値が7空港となったが、進捗状況としては概ね順調である。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
空港施設の適切な管理を実施するため、施設の健全度や状況に応じて維持管理更新計画を更新し、これに基づき施設の更新を継続して行っていく。	空港施設の適切な管理を実施するため、点検業務等の結果を維持管理更新計画に反映し、維持管理・更新を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	航空機の安全航行の確保並びに空港施設の適正な管理運営に繋がることから、計画的な施設の更新を実施するため、点検に基づいた維持管理更新計画の更新を継続して行う。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	空港施設の適切な管理を実施するため、点検の結果を基に施設の健全度や状況に応じて維持管理更新計画を更新し、これに基づき施設の更新を継続して行っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施策	①離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持
			施策の小項目名	○各ターミナルビル社による国際線旅客受入体制整備の支援
主な取組	離島拠点空港の国際線受入体制整備の支援		対応する成果指標	離島空港の年間旅客数
施策の方向	・離島空港の機能充実のため、新石垣空港、下地島空港において、各ターミナルビル社による国際線旅客受入体制整備に係る取組を支援します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
CIQ常設に向けた検疫指定を目指すために国へ要望するとともに国際線就航に備えた働きかけを行っていく。	国,県,民間等	検疫指定に向けた関係機関調整、要請		
		CIQ常設に向けた関係機関との調整・要請回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課 【 098-866-2400 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
CIQ常設に向けた検疫指定について国へ要望する。国際線就航やプライベートジェット機の乗り入れがあるごとに検疫所へ業務の協力要請を行う。				下地島空港のCIQ常設化に向けて関係機関との調整をする。国際線就航やプライベートジェット機の乗り入れがあるごとに検疫所へ業務協力要請を行う。		

活動指標名	CIQ常設に向けた関係機関との調整・要請回数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		1回	9回 (10回)	15回	1回 (3回)	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

国へCIQ「審査体制の強化」および「指定港化」の要望を3回行い、検疫所へ業務の協力要請を12回行った。検疫所の業務の協力要請を行ったことで9度のチャーター便運航と3度の定期便の運航があった。また、指定港化の要請を行ったことで新石垣空港管理事務所が検疫飛行場に指定された。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
下地島空港は定期便も就航していることから、引き続き、国へのCIQ「審査体制の強化」および「指定港化」を要望する。また、国際線の就航があるごとに検疫所へ協力要請を行い、実績を積み重ねていく。	令和6年度は新石垣空港、下地島空港において国際線の就航にあたり、那覇検疫所石垣出張所または、那覇検疫所平良出張所へ業務の協力要請を12回行い、検疫業務が実施されることで国際線の就航ができた。  内訳：新石垣空港4回、下地島空港8回

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	全国的に訪日外国人観光客数はコロナ禍を上回っている。下地島空港においては韓国路線が就航しており、CIQの常設化及び運営体制の強化に向け、さらにCIQ官署への働きかけに取り組む必要がある。	⑧ その他	国際線定期便の運航再開や新規路線の就航もあることから、引き続き、下地島空港の指定港化を、国へ要望する。また、国際線の就航があるごとに検疫所へ協力要請を行い、実績を積み重ねていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施策	①離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持
			施策の小項目名	○離島発着航空路線の維持・拡充
主な取組	伊平屋空港の整備		対応する成果指標	離島空港の年間旅客数
施策の方向	・過去に廃止された石垣拠点の2路線や那覇・粟国路線の継続運航、伊平屋空港の整備・路線開設に関する諸課題の解決に取り組むなど、離島発着航空路線の維持・拡充に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
伊平屋・伊是名地域における生活利便性の向上、特色を活かした産業の振興、持続可能な離島地域社会の実現を図るため、空港整備に取り組む。	国,県	新規事業化へ向けた関係者調整			
		関係者調整回数(累計)			
		4回	4回(8回)	4回(12回)	
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課		【 098-866-2400 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
—	—	15,400		主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
就航予定航空会社の確保に向け、航空会社等と意見交換を行い、伊平屋村・伊是名村と連携して空港整備に向けた取り組みを進めた。				引き続き、就航予定航空会社の確保に向け、航空会社等と意見交換を行い、伊平屋村・伊是名村と連携して空港整備に向けた取り組みを進める。		

活動指標名	関係者調整回数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	4回	4回	4回	4回 (12回)	100.0%	順調	就航予定航空会社の確保に向け、航空会社等と意見交換を行い、伊平屋村・伊是名村と連携して空港整備に向けた取り組みを進める。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

就航予定航空会社の確保に向け航空会社と適宜意見交換を行っており、目標回数を達成していることから、順調と判断した。  
伊平屋空港を整備することにより、那覇市等の中心都市へおおむね1時間以内の移動が確保でき、伊平屋村や伊是名村における生活利便性向上が見込まれる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
意向取り付けや費用対効果の確保など、就航に向けた取り組みを検討し、伊平屋村・伊是名村との連携および航空会社とも意見交換を実施するなど、空港整備に向けた取り組みを進める。	令和6年度は就航意向取り付けに向け、伊平屋村と連携して航空会社との意見交換を引き続き実施し、費用対効果の確保に要する検討材料についても情報収集した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	費用対効果の確保において、航空機の就航や航空需要の減少を抑制するための施策展開等の確保が課題である。	② 連携の強化・改善	就航意向の取り付けや費用対効果の確保に向け、伊平屋村・伊是名村と連携強化しつつ、継続して航空会社と意見交換を実施し、空港整備に向けた取り組みを進める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施策	②離島港湾の機能強化及び安全で安定した海上交通の確保・維持
			施策の小項目名	○総合的な離島港湾機能の強化・拡充
主な取組	離島港湾整備事業		対応する成果指標	離島港湾における定期航路の数
施策の方向	・港湾等については、海上交通の安全性・安定性の確保、輸送需要の増大と輸送形態の効率化、産業・観光振興、防災・減災対策、ユニバーサルデザイン、AI、IoTを活用したスマートポート化への対応など、ハード・ソフトの両面から総合的な港湾機能の強化・拡充に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島港湾において、港内の静穏度向上などにより、離島間の連絡船や小型船の港内における安全な航行、係留および保管能力の向上が図られるよう、港湾施設の整備を実施する。	県	港湾施設の整備(水域、外郭、係留、臨港交通施設等の整備)		
		港湾施設の整備が完了した港湾数(事業単位)(累計)		
		1港	1港(2港)	1港(3港)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	港湾改修費、社会資本整備総合交付金（港湾）、沖縄振興公共投資交付金（港湾）			予算事業名	港湾改修費、社会資本整備総合交付金（港湾）、沖縄振興公共投資交付金（港湾）	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
内閣府計上	直接実施	1,718,408	1,347,795	内閣府計上	直接実施	2,566,792
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
県管理7港湾において防波堤等の整備を実施した。				県管理13港湾において防波堤等の整備を実施する。		

活動指標名	港湾施設の整備が完了した港湾数 (事業単位) (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	3港	1港(4港)	0港(4港)	1港(3港)	0.0%	順調	県管理7港(水納港(本部町)、白浜港、兼城港、前泊港、多良間港、南大東港、北大東港)において、防波堤等の港湾施設整備を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標1港に対し、県管理7港湾で施設整備を進めているが、一部の予算減額等により事業進捗に影響が生じており、年度内の整備完了が困難となった。それぞれの港湾で整備が進んでいること、および累計で4港の整備が完了していることから、進捗は順調とした。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>各港湾の整備進捗や現場状況を踏まえながら、事業効果の早期発現が期待できる事業を優先的に取り組む。また、早期の事業進捗が図れるよう、予算確保に努める。工事の実施に際して、港湾利用者等と調整し、利便性や安全性に配慮した施工計画、工程管理により事業を推進する。</p>	<p>事業効果の早期発現が期待できる事業については、補正予算も活用する等して事業進捗を図った。事業の実施に際して、港湾利用者等と調整し、利便性や安全性に配慮した施工計画、工程管理により事業を実施している。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	作業員や作業船の不足、物価高騰による資機材の確保難などを理由とする工事の不調・不落が増加していることから、適切な対策を講じる必要がある。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	海水浴客や海域利用者の多い港湾については、特に環境に配慮しながら整備を実施する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	工事の発注においては、引き続き適切な不調・不落対策を講じる等して、施設整備の推進を図っていく。
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	海域利用者の多い港湾については特に徹底した濁水流出防止対策を講じるとともに、海水浴客の多い時期には施工をしないなど、周辺環境へ配慮した港湾施設整備に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施策	②離島港湾の機能強化及び安全で安定した海上交通の確保・維持
			施策の小項目名	○総合的な離島港湾機能の強化・拡充
主な取組	離島港湾の利便性向上推進事業		対応する成果指標	離島港湾における定期航路の数
施策の方向	<p>・港湾等については、海上交通の安全性・安定性の確保、輸送需要の増大と輸送形態の効率化、産業・観光振興、防災・減災対策、ユニバーサルデザイン、AI、IoTを活用したスマートポート化への対応など、ハード・ソフトの両面から総合的な港湾機能の強化・拡充に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島にとって港湾は島民の生活物資等を取り扱うことから、生活に密着した社会資本の一つである。本事業においては天候に左右されず生活物資の受け渡しが可能な屋根付き荷捌き施設を整備する。	県	港湾利用者の利便性や、快適な移動動線を確保するための離島航路港湾の施設整備		
		利便性向上を推進した港湾数(累計)		
		1港	1港(2港)	2港(4港)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	離島港湾の利便性向上推進事業			予算事業名	離島港湾の利便性向上推進事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
一括交付金 (ソフト)	直接実施	62,091	0	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	直接実施	111,780
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
屋根付き荷捌き施設 1 港について設計を実施した。				屋根付き荷捌き施設 1 港の整備を行う。		

活動指標名	利便性向上を推進した港湾数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1 港	1 港	0.5 港 (2.5 港)	2 港 (4 港)	25.0%	やや遅れ	天候に左右されず生活物資の受け渡し可能な屋根付き荷捌き施設を整備する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標 2 港整備としていたが、関係者調整に不測の日数を要し、実績値は 1 港の設計業務完了のため 0.5 港としている。累計目標 4 港整備に対し 2.5 港整備が完了していることから 62.5% の進捗が図られており、やや遅れとなっている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
設計段階から地元市町村や港湾利用者と意見交換の場を設け合意形成を図り、円滑に利便性の高い施設を整備する。	設計時に関係者に意見を伺いながらを検討を進め、より利便性の高い施設設計を行うことが出来た。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	地元自治体の政策や観光客等を含む港湾利用者数の今後の見通し等を留意しながら、貨物量を設定し施設を検討する必要がある。	② 連携の強化・改善	関係者にヒアリングを行い、現状の貨物量や今後の見通し、港湾の活用計画を把握し施設の検討を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施策	③地域特性に応じた島内移動手段の確保
			施策の小項目名	○離島の地域特性に応じた移動環境の創出
主な取組	離島の道路・街路整備事業（県管理道路）		対応する成果指標	離島における乗合バス利用者数
施策の方向	・空港、港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連結させるため、離島の地域特性に応じた道路整備を推進するとともに、MaaSや自動運転技術等の新技術の活用を含め、島内移動手段のシームレスな連携接続に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
空港、港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連結させるため、離島の地域特性に応じた道路整備を推進する。	県	平良下地島空港線、マクラム通り線、石垣空港線等の整備		
		整備済延長(累計)		
		整備実施	0.4km	1.5km(1.9km)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課	【 098-866-2390 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 沖縄振興公共投資交付金事業費 (道路)				予算事業名 沖縄振興公共投資交付金事業費 (道路)		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
一括交付金 (ハード)	直接実施	643,789	998,008	主な財源	実施方法	当初予算額
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
石垣空港線 (道路改良、用地補償)、久米島一周線 (道路改良) 等の整備を行った。				石垣空港線 (道路改良、用地補償)、平良下地島空港線 (道路改良) 等の整備を行う。		
予算事業名 沖縄振興公共投資交付金事業費 (街路)				予算事業名 沖縄振興公共投資交付金事業費 (街路)		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
一括交付金 (ハード)	直接実施	34,013	205,926	主な財源	実施方法	当初予算額
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
マクラム通り線 (街路工事、用地補償等)、市場通り線 (街路工事) 等の整備を行った。				マクラム通り線 (街路工事、用地補償等)、市場通り線 (街路工事) 等の整備を行う。		

活動指標名	整備済延長 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	整備実施	0.4km	1.5km	1.5km (1.9km)	100.0%	順調	石垣空港線、マクラム通り線等の整備を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>予定していた石垣空港線の一部整備 (1.5km) を完了したことから「順調」とした。 引き続き離島の地域特性に応じた道路整備を推進することで、島内移動手段の強化を図る。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>全体計画の中で大規模橋梁工事の実施時期を明確にし、予算措置の年度計画と工事の詳細工程を執行会議において事務所担当者と本庁担当者と共有する。</p>	<p>定期的を開催する執行会議において、大規模橋梁等の重要構造物については詳細工程を共有することで工事着手から完了までの課題を把握・共有し、事業の進捗を図った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	石垣空港線における大規模橋梁工事の予算確保と適切な工程管理が必要となる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	補正予算の積極的な要望を行うとともに、執行会議において工事進捗に向けた課題の共有を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施策	③地域特性に応じた島内移動手段の確保
			施策の小項目名	○離島における道路橋梁の計画的な維持管理、補修・補強及び更新
主な取組	橋梁長寿命化修繕事業（県道等）		対応する成果指標	離島における乗合バス利用者数
施策の方向	・ 離島の道路橋梁については、地域特性に応じた整備と計画的な維持管理、補修・補強及び更新に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島における県管理道路橋171橋は、その大部分が復帰後に建設されたものである。今後老朽化・劣化の進行する橋梁に対し、「沖縄県橋梁長寿命化修繕計画」に基づき長寿命化を図るとともに災害等緊急時の輸送道路の確保等、安全で安心な道路ネットワークの形成を図る。	県	離島橋梁の定期点検・修繕・耐震補強・更新の実施		
		定期点検・修繕・耐震補強・更新箇所数(内訳)		
		4箇所(継続4箇所)	4箇所(継続4箇所)	4箇所(継続4箇所)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課	【 098-866-2665 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名 道路防災保全事業					予算事業名 道路防災保全事業			
主な財源		実施方法		R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度	
一括交付金 (ハード)		直接実施		576,309	720,081		主な財源 実施方法 当初予算額	
							一括交付金 (ハード) 直接実施 820,000	
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画			
県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（1箇所）を実施した。					県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（3箇所）を実施する。			
予算事業名 道路メンテナンス事業					予算事業名 道路メンテナンス事業			
主な財源		実施方法		R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度	
内閣府計上		直接実施		747,432	751,808		主な財源 実施方法 当初予算額	
							内閣府計上 直接実施 630,000	
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画			
県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（4箇所）を実施した。					県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（1箇所）を実施する。			
活動指標名		定期点検・修繕・耐震補強・更新 箇所数（内訳）		R6年度			進捗状況	
実績値		R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	活動概要	
		4箇所	4箇所	4箇所	4箇所 (継続4箇所)	100.0%	県管理道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新 を4カ所実施した。	

# 様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
定期点検・修繕・耐震補強・更新箇所数については、計画4カ所に対し、実施4カ所であり、「順調」であった。県管理道路橋の長寿命化を図るとともに、安全で安心な道路ネットワークの形成に向けて取り組んだ。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
引き続き、平成26年度から実施している法律に基づく定期点検を実施し、すべての県管理道路橋の点検結果を記録・把握する。 新技術の活用や施設の集約化に関する方針について検討する。	県管理道路橋の定期点検を実施した。(計画2カ所→実施2カ所) 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に伴う国の補正予算を活用し、事業のさらなる推進を図った(計画3カ所→実施3カ所)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	離島における県管理の道路橋は171橋あり、その多くが復帰後に建設されている。今後、修繕費の増大が予測されることから、最も効率的・効果的な維持修繕を行わなければならない。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	道路法令の改正により、道路橋の定期点検(5年に1回)の実施が定められた。 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に伴い、予防保全型による老朽化対策が見込まれる。
⑦ その他(改善余地の検証等)	定期点検(1回/5年)を実施することで、健全度の経年変化を記録・把握する必要がある。 効率的・効果的な事業の実施のため、コスト縮減に関する具体的な方針について検討する。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、平成26年度から実施している法律に基づく定期点検を実施し、すべての県管理道路橋の点検結果を記録・把握する。
⑥ 変化に対応した取組の改善	防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に伴う国の補正予算を活用し、事業のさらなる推進を図る。
⑥ 変化に対応した取組の改善	新技術の活用や施設の集約化に関する方針について検討する。